

事務事業評価表(既存事業)

コード 5-2-2	事務事業名 廃棄物減量等推進員拡充事業	所管部課 環境防災部ごみ減量推進課
--------------	------------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 ごみの減量及び資源化を一層推進していく上で重要な役割を担う地域の代表であることから広く人材を求めていく必要がある。	総合計画上の位置づけ (政策)環境にやさしいまちづくり (施策)ごみ対策の推進(環2-2) (主要施策)ごみの減量に向けた意識啓発
	実施内容、実施方法 ・推進員を市報等により公募する。 ・廃棄物の分別及び適正な排出等に係る事項などについて、推進員から毎月報告を受ける。	根拠法令等 西東京市廃棄物の処理及び再利用に関する条例
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 推進員の人数	活動指標の考え方(定義) 推進員として活動されている人数(目標値は、1地区1名の割合)
	成果指標名 報告件数	成果指標の考え方(定義) 推進員からの報告件数
	報告のうち参考になった事例	参考事例数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		2,547	1,998	2,166	2,880	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		2,547	1,998	2,166	2,880	
	所要人員(B)	人	0.20	0.20	0.20	0.20	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,649	1,655	1,666	1,666	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	4,196	3,653	3,832	4,546	
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (推進員の人数)	千円	59	63	65		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	人			119	119
		実績値	人	71	58	59	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	件			1,428	1,428	
	実績値	件	852	696	708		
成果指標	目標値	件			230	230	
	実績値	件	120	100	140		

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等における類似事業	他市においても同様の事業を実施しているが、報償費の支払いや、身分上の取り扱いについて違いがある。
	運営上の制約条件・外部要因等	高齢者が多く、活動に制限がある。

コード 5-2-2	事務事業名 廃棄物減量等推進員拡充事業	所管部課 環境防災部ごみ減量推進課
--------------	------------------------	----------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	「西東京市廃棄物の処理及び再利用に関する条例施行規則」において市内各町丁ごとに1人選出することとなっているが、高齢者が多く、死亡、入院等により欠員が生じる場合があり、十分な活動ができなかった。推進員の各地域ごとの完全配置及び若年層の確保が必要とされる。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	ごみの減量、資源化を推進する上で地域の代表として重要な役割を担うため、引き続き必要性は大きい。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	現在、推進員に謝金を支払っているが(月額3000円)、他市を参考として支給方法を検討する必要がある。 他市の参考例 ・武蔵野市： 現金支給はなし。腕章の支給・身分証明書の発行。 ・三鷹市： 月1,900円。会議開催時に支給。 ・武蔵村山市・日野市： 現金支給なし(ボランティア)。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	推進員の主な業務内容は、廃棄物の分別及び適正な排出等に係る事項などについて毎月活動状況を報告することであり、市が行う施策に協力する旨条例上義務付けられている。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	地域の代表として、ごみの減量、資源化について活動していただくため、さらなる拡充を図る。

17年度における改善点	市報により継続的に公募を行う。集団回収団体等との連携を図る。年3回程度実施する市指導員等との会合出席者に日額支給する方法に5年以内に変更する。併せてジャンパー等の被服の貸与に変更し、報償費の削減を図る。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。